

説教題：**知恵の正しさは、その働きによって  
証明される(19節)**

聖書：マタイ 11章16～19節

<口語訳>

新約聖書16～17頁

マタイ 11章16～19節

<新共同訳>

新約聖書20～ 頁

マタイ 11章16～19節

<新改訳第3版>

新約聖書20～ 頁

マタイ 11章16～19節

<塚本訳>

新約聖書98～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き  
によって主の弟子たちは、主の名による 神  
の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日の**マタイ11:16～19**は、「**天の国は、激しく襲われている**」(12)(「**天の国**を人々が、**が熱心に求めている**」)を受けて、**先駆けの預言者ヨハネ**を**マタイ**は**マラキ書3:1**の「**わたしの使者**」、すなわち**エリヤ霊**を受けた**預言者**で、「**預言者よりすぐれた者**」と、**神の御子イエス・キリスト様**がほめ、高く評価された**旧約最後で最大の預言者**であると示し、**ユダヤ人指導者**は、**ヨハネ**も、**神の御子イエス・キリスト様**も受け入れなかったと語っているのです。

⇒その結論として、「(神の)知恵の正しいことは、(ヨハネと人の子とによる)その業が証明した」

(19)との**御子イエス・キリスト様のみことば**を**マタイ**は語っています。

⇒私たちは、今の時代の**神の証明書**なのです。

⇒**鼠尾澄江姉**の**あかし**について

本論；

◇本日、**マタイ書11章16～19節**から主の**使信**に**思い・心nouj**をとめます。

◆**マタイ11章16～19節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**が、**ヨハネの働き**に対し、彼を「**(先駆け)**としてきたるべき**(預言者)エリヤ**である（マラキ書4:5,6）と示し、「**天の国は、激しく襲われている**」と予告されたの後、ユダヤ人 指導者を扱いつつ、今の時代は、知恵の正しいことは、その働きが証明すると語られました。

◇**11:16～19節**；塚本訳◆**イエス、ヨハネをほめる**

「16 だが、(気ままな)この時代(の人)を何にたとえようか。子供たちが市場に坐って(嫁入りごっこや吊いごっこをしながら)、こう言って他の子供たちに呼びかけるのに似ている。——

17 笛を吹いたのに、踊ってくれない。吊いの歌をうたったのに、悲しんでくれない。

18 なぜならその人たちは、ヨハネが来て飲み食いしないと『悪鬼につかわれている』と言い、

19 人の子(わたし)が来て飲み食いすると、『そら、大飯食いだ、飲兵衛だ、税金取りと罪人

の仲間だ』と言うのだから。しかし(神の)知恵の正しいことは、(ヨハネと人の子とによる)その業が証明した。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**16～19節**；「**御子イエス・キリスト様**」は、「だが、(気ままな)この時代(の人)を何にたとえようか。子供たちが市場に坐って(嫁入りごっこや吊いごっこをしながら)、こう言って他の子供たちに呼びかけるのに似ている(16)」、「笛を吹いたのに、踊ってくれない。吊いの歌をうたったのに、悲しんでくれない(17)」、「なぜならその人たちは、ヨハネが来て飲み食いしないと『悪鬼につかわれている』と言い(18)」と、語られ、「人の子(わたし)が来て飲み食いすると、『そら、大飯食いだ、飲兵衛だ、税金取りと罪人の仲間だ』と言うのだから。しかし(神の)知恵の正しいことは、(ヨハネと人の子とによる)その業が証明した(19)」ことを示され、「**先駆けの預言者ヨハネ**」と、「**御子イエス・キリスト様**」との「(神の)知恵」の「正しいこと」は、「(ヨハネと人の子とによる)その業が証明した(19)」と、宣言されたのです。

⇒ユダヤ人指導者主体の「(気ままな)この時代」とを「たとえ」になぞらえ、当時の市場でなされた「結婚式ごっこ」や「葬式ごっこ」(17) を取り上げて、**御子イエス・キリスト様**は語られました。本質を捉えていない彼らの振る舞いの滑稽さを表現しています。

⇒逆に、「ヨハネが来て飲み食いしないと『悪鬼につかわれている』と言い(18)」、「人の子(わたし)が来て飲み食いすると、『そら、大飯食いだ、飲兵衛だ、税金取りと罪人の仲間だ』と言う(19)」言動を取り上げ、「**神の知恵・神を畏れ敬う心**」に欠けていることを率直に示されました。

⇒「**天の国**」は、「**激しく襲われている**」(12)の「**激しく襲われている**」(12)言語を「力を発揮する」意味に理解し、「力づくで突入する」、「力を自ら発揮する」と、訳し、「**天の国は、激しく襲われている**」(12)を「**天の国は、突入している、激しく襲う者が、これを奪っている**」(12)」と、**榊原康夫師**は、理解しておられます。

⇒「**天の国は、この世に突入し**」、「**ヨハネは、殉教**」、「**御子イエス・キリスト様は、十字架の死を背負い**」というわざを成し遂げました。

⇒**新しいの業を受けて」、「天の国の実現のため神の救いの福音をこの世に突入させる・福音をあかしする時代」**です。

⇒ヨハネは、旧約時代に**王なる救い主(メシヤ)**を宣べ、悔い改めのバプテスマを授けて、**先駆けの預言者のわざし、御子イエス・キリスト様は、王なる救い主(メシヤ)として、罪の十字架を背負う先駆け**を担って下さったのです。

⇒私たちは、日々、主が背負って下さいますので、軽い十字架・罪の赦しの十字架を背負って、この新しい福音の時代に、栄光の福音にふさわしく生かされたいとねがいます。

⇒**マタイ**は、**マタイ28:19、20**に見るように、ユダヤ人の救いという領域から「すべての造られた者」へと、宣教の領域が広くされています。主が再臨して、**神の国(天の国)**を完成して下さるまで、宣教の使命は託されており、時代を超えたバトンタッチが必要です。

## 結論；

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓(説教)の箇所です。

◇本日の**マタイ11:16～19**は、「**天の国は、激しく襲われている**」(12)(「**天の国**を人々が、が熱心に求めている」)を受けて、先駆けの預言者**ヨハネ**を**マタイ**はマラキ書3:1の「わたしの使者」、すなわち**エリヤ霊**を受けた預言者で、「**預言者よりすぐれた者**」と、**神の御子イエス・キリスト様**がほめ、高く評価された**旧約最後で最大の預言者**であると示し、ユダヤ人指導者は、**ヨハネ**も、**神の御子イエス・キリスト様**も受け入れなかったと語っているのです。

⇒その結論として、「(神の)知恵の正しいことは、(ヨハネと人の子とによる)その業が証明した」

(19)との**御子イエス・キリスト様のみことば**を**マタイ**は語っています。

⇒私たちは、今の時代の**神の証明書**なのです。

⇒**ヨハネ**は、旧約最後の預言者として、エリヤの霊を受けて預言し、罪を悔い改めて、**救い主、神の御子イエス・キリスト様**を求めるように、道備え(バプテスマ<洗礼>)をしたのです。

⇒**御子イエス・キリスト様**も、貧しい身なりでした。

⇒併し、主は、**神のひとり子**であり、私たちは、**神の子たる身分**を与えられています。

⇒**ヨハネ**は、旧約の最大の**神の預言者**という身分を与えられていますが、**先駆け**に留まるのです。

⇒ I コリント1:30 口語訳；

30 あなたがたがキリスト・イエスにあるのは、神によるのである。キリストは神に立てられて、わたしたちの知恵となり、義と聖とあがないとになられたのである。

⇒私たちは、今の時代の人々に対して、**神の福音の先駆者・預言者・開拓者**なのです。

⇒私たちは、**神の恵み**を誇りましょう。

マタイ 11 : 16 ~ 19    16 ~ 17 頁  
【口語訳】

- 16 今の時代を何に比べようか。それは子供たちが広場にすわって、ほかの子供たちに呼びかけ、
- 17 『わたしたちが笛を吹いたのに、あなたたちは踊ってくれなかった。吊いの歌を歌ったのに、胸を打ってくれなかった』と言うのに似ている。
- 18 なぜなら、ヨハネがきて、食べることも、飲むこともしないと、あれは悪霊につかれているのだ、と言い、
- 19 また人の子がきて、食べたり飲んだりしていると、見よ、あれは食をむさぼる者、大酒を飲む者、また取税人、罪人の仲間だ、と言う。しかし、知恵の正しいことは、その働きが証明する」。